

はじめにお読みください

この文章は、研究室に所属する学生が研究活動の一環として作成してくれたものです。研究室セミナーの時間に輪番で発表してもらい、研究に関連した事項の基礎知識の向上をはかりました。内容・文章ともに未だ不完全なものもありますが、2018 年度に調査してくれたものを公開いたします。

※学生の作成してくれたファイルをそのまま公開しております。ところどころ誤った記述もあるため、内容については保証いたしかねます。ご注意ください。
(2019 年度以降、少しずつ改訂していく予定です。)

2018 年 3 月 名古屋工業大学 川崎・石井研究室
<http://kawasaki.web.nitech.ac.jp/jp/tips/index.shtml>

【執筆者一覧】

・ 卒研究生

伊達 怜実、堀之内 理紗、山田 えみり、吉谷 駿、渡邊 裕介

・ M1

浅井 七海、亀岡 真祐子、近藤 航平、長谷川 毅、横井 和真、高橋 実夏子

・ M2

石亀 弘基、久野 潤也、中村 元海、林 遼治、松下 一樹、眞鍋 駿

・ D3

李 蒼昊

【キャパシタ】

キャパシタの市場規模を教えてください。

作成日： 2018 年 1 月 9 日

担当者： 松下

答え：「平成 27 年度 特許出願技術動向調査報告書（概要） 電気化学キャパシタ」（特許庁作成）
(https://www.jpo.go.jp/shiryou/pdf/gidou-houkoku/h27/27_17.pdf)より。

電気二重層キャパシタ EDLC は小容量のものと中・大容量のものに大別される。小容量の定義は容量が 1F 未満のものであり、中・大容量のものでは 1F 以上の容量を持つものである。小容量のものは携帯電話などで、メモリーのバックアップ電源などとして利用されている。中・大容量のものは自動車のエネルギー回生などに利用される。

小容量のものでは市場規模としては日本国内では 2013 年では 90 億円ほどであった。しかし国内では規模自体は年々減少しており 2019 年の見込みとしては 30 億円まで減少すると見られている。一方で海外に目を向けると国内とは逆に年々増加を続け 2019 年には 120 億円を超えると予測されている。

中・大容量のものでは国内海外ともに今後も増加を続ける見込みである。2013 年は国内で 70 億円ほど、海外では 150 億円。2019 年の予測では国内で 150 億円、海外で 270 億円ほどまで増加するとされている。